

| | | | |
|--|---|-----------------|---|
| 令和3年度 | | | |
| 講習の区分 | <選択必修領域講習>受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域 | | 講習時間数 6 時間 |
| 講習の名称 | 【選択必修】「特別の教科道德」の特質と課題 | | 講習形態 講義 |
| 開設者 | 長崎総合科学大学 | | 定員 50名 |
| 開設日/時間 | 令和3年8月18日(水) / 8:55~16:30 | 会場 | 長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス(長崎市) 8号館 2階 821講義室 |
| 主な受講対象者 | 学校種 | ■幼 ■小 ■中 ■高 ■特支 | |
| | 免許職種、教科等 | ■教諭 □特定しない | |
| | 職務経験等 | □ ■特定しない | |
| 講習の概要 | 道德教育 | | |
| 担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員：上 藪 恒太郎 (教職課程) / KAMIZONO_Kohtaro@NiAS.ac.jp / 095-838-4806 | | | |
| 担当教員(分担担当者等) | | | |
| 講習のねらい：新しい学習指導要領について理解し、現在作成されている道德教科書の状況を知り、授業を評価するやり方を知り、道德資料と授業について検討する。 | | | |
| 講習方法：講義形式を軸に、受講者の要望を伺いながら、道德教育について考えていただく。 | | | |
| 講習到達目標：新学習指導要領による、考える道德、自己肯定感を育む道德授業を理解する。 | | | |
| 講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)：約60年に及ぶ道德教育は、期待される役割を十分に果たすことができるよう「特別の教科道德」として教科化が図られた。この講座では、道德教育の重要性を考え、その特質と課題について幼稚園及び高等学校教員も対象としながら考える。 (上 藪 恒太郎著『連想法による道德授業評価 —教育臨床の技法—』教育出版の準備が必要です) | | | |
| 講習計画・内容： | | | |
| | 内容等 | 時間 | 担当教員 |
| | オリエンテーション | 08:55 ~ 09:00 | 上 藪 恒太郎 |
| | 教科化の現状 | 09:00 ~ 09:55 | 上 藪 恒太郎 |
| | 日本の道德教育の構造と課題 | 09:55 ~ 10:50 | 上 藪 恒太郎 |
| | 中華人民共和国の道德教育 | 11:00 ~ 11:55 | 上 藪 恒太郎 |
| | 昼休憩 | 11:55 ~ 12:50 | |
| | 日本の道德教科書と授業の目的 | 12:50 ~ 13:45 | 上 藪 恒太郎 |
| | すぐれた道德資料, 学習指導案, 授業例 | 13:55 ~ 14:50 | 上 藪 恒太郎 |
| | 道德授業評価(連想法) | 15:00 ~ 15:55 | 上 藪 恒太郎 |
| | 確認のための試験 | 16:00 ~ 16:30 | 上 藪 恒太郎 |
| キーワード： (日本の道德教育) (教科化) (連想法) | | | |
| 成績評価の方法 | 試験の成績と講習への取り組みから総合的に判断します。 | | |
| 成績評価の基準 | 成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| 履修認定の方法 | 成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 上 藪 恒太郎『連想法による道德授業評価 —教育臨床の技法—』教育出版 | | |
| 各自で準備するもの | 上 藪 恒太郎『連想法による道德授業評価 —教育臨床の技法—』教育出版 | | |
| 受講上の注意 | 1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。 | | |

